

令和4年第4回（8月）瀬戸内市議会定例会

教育委員会行政報告

市長の行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

今年度4月に実施した全国学力調査について、岡山県全体の結果が7月に公表されました。

瀬戸内市の学力の状況は、小学校6年生では平均正答率がほぼ全国と同等でしたが、国語と理科に比べると算数には課題が見られます。中学校3年生は3教科とも全国平均を上回りました。同一集団の経年比較で、中学校において学力を大きく伸ばした点を評価しています。

小学校、中学校ともに国語に関して好成績を維持している点については、市内全小中学校に配置している学校図書館司書の読書啓発や授業内容とリンクした意図的掲示、授業での調べ学習への支援等の取組とともに、地域の方々による「読み聞かせ」等の効果も大きいと考えており、学校支援ボランティアの方々の温かいご支援に心より感謝しています。

それでは、主な取り組みについて報告させていただきます。

○学習状況調査について

学力調査と同時に公表された児童生徒の日頃の生活の様子や学習の取組状況を調査する学習状況調査では、中学校3年生で「主体的な学び」と「対話的で深い学び」の項目が伸びました。これまで市内の先生方が研究してきた、ICTを適切に活用した「個別最適な学習」と、対面による意見交換の場面を効果的に組み合わせた授業づくり、教科や学校種の枠を超えた授業

改善や家庭学習への指導の積み重ねが今回の結果につながってきているととらえています。

学力・学習状況調査の結果を児童生徒に適切にフィードバックし、努力してきたことへの自信や自分自身の良さを自覚する自己肯定感につなげ、それぞれが抱えている夢や目標に向かってチャレンジする気持ちを高められるよう、引き続き、授業改善と落ち着いた学習環境づくりに取り組んでいきます。

○公民館について

公民館では、継続的な感染症予防を行いながら生涯学習の拠点施設として事業を展開しています。3年ぶりとなる文化祭は、市民の自主的な文化活動の大切な発表の場ととらえ、公民館ごとに実施する予定で実行委員会と共に準備を進めています。また、11月に開催予定の喜之助人形劇フェスタは、市内のアマチュア人形劇団等が中心となって活動してきた人形劇文化継承への支援と、さらなる市民への周知啓発を目的に、プロの人形劇団招へい事業を公民館が担い、実行委員会と協働して準備を進めています。文化があふれるまちづくり委員会では、7月30日に「親子de文化祭」を開催し延べ1,165人の参加がありました。公民館の関係団体の指導者などがワークショップを運営し、親子で体験できる芸術文化活動を提供しました。また、特別企画として著名なアーティストとの共演で、全国で活躍する瀬戸内市出身のトロンボーン奏者馬場桜佑さんによる躍動感ある演奏をたくさんの親子が鑑賞しました。その中で、市長が「せとうちPR大使」を委嘱しました。

○学校給食調理場について

学校給食調理場では、6月22日に公募型プロポーザルにより長船学校給食調理場調理等業務に係る受託業者を決定しました。2学期からも引き続き地場産物の積極的な活用を図りながら、食の安全を最優先に、安心して食べられる給食を提供していきます。

牛窓学校給食調理場との統合に伴う邑久学校給食調理場の増築・改修工事の実施設計が7月末で完了しました。同工事は、物価上昇等の影響を受け当初計画より大幅な増加となりますが、合併特例事業債が活用できるこの機に実施するべく、今議会に予算を計上しています。なお、工期については、令和5年8月末を予定しています。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

令和4年8月30日

瀬戸内市教育委員会
教育長 東南 信行